

## ○「防犯パトロール」等の実施

「地域の安全は地域で守る」を合言葉に月4回の防犯パトロールと歳末防犯パトロールを実施している。会員を2班に分け、2コースを設定することにより、広範囲で密度の高いパトロールとなっている。地域の方から労いの言葉がかけられるなどパトロール活動は地域に浸透している。

空き家の巡回では、プライバシーに配慮しながら施錠不備宅等を発見した際には、行政関係部署に情報をつなげている。

パトロールでは、死角になりやすい場所の把握、のぼり旗や看板等の破損箇所の把握、自治会への外灯設置の提案などにより、防犯活動の向上となるよう配慮している。



歳末防犯パトロールに向かう様子

## 活動から考えられる課題と対策

- ・まだまだ見守りの目が届かない「死角」の場所があり、隙が生まれて犯罪が発生しやすい。
- ・児童の自宅周辺に目配りができるような体制づくりが必要である。
- ・通学路に、散歩中の人等が気楽に座れる「見守りベンチ」といった椅子を設置することで、連れ去り防止の効果がある。
- ・「防犯カメラ作動中」や「防犯活動実施中」の手作り看板をきめ細やかに設置するなど、地域の見守り活動を強化し、犯罪者が近寄り難い地域であることをアピールしていく必要がある。
- ・防災無線を利用し、児童の下校時間に「いつも見守りありがとうございます。これから子どもたちが下校しますので、見守りをお願いします。」と広く呼びかけることで、犯罪抑止につながっていく。



ミーティングの様子

## 今後の展望

- ・最近の犯罪情勢を把握し、効果的な防犯活動を構築していきたい。
- ・自治会、民生委員、行政、学校、地元商店等と連携し、安全安心な地域を目指していきたい。
- ・会員が高齢化しているが、できる時にできる人ができることを無理のない範囲内での活動の仕組みをつくり、作業分担することで活動が継続し、会員同士の絆がさらに強まるような活動を目指していきたい。強制的な当番制ではなく、急な変更でもお互いさまの気持ちで柔軟な対応をしていきたい。
- ・会員の安全確保、やりがい、居場所感、チーム連帯感等に配慮しながら楽しく参加できる雰囲気のある団体としていきたい。

## ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

～ 各出前講座等のご案内 ～

### ○地域の課題解決応援事業

自治会・まちづくり協議会など地域住民主体の団体を対象に、地域が抱える課題（防災、子育て支援、防犯、認知症など）の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターを派遣するなど、要望に応じて課題解決の応援をします。

詳しくはホームページ検索サイトで、

### ○高齢者の安全・安心のための出前講座

皆さんの地域へ担当職員等がお伺いし、交通安全・防犯・消費者被害の防止といった身近な問題をテーマに、講話・寸劇などで、わかりやすくお伝えします。

詳しくはホームページ検索サイトで、

### ○安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣

防犯に関するまちづくりの取り組みを応援するため、防犯ボランティア団体、自治会、PTA、老人クラブ、婦人会、学校等にアドバイザーを派遣しています。

詳しくはホームページ検索サイトで、

### ○消費生活出前講座

皆さんの地域や学校へお伺いし、二セ電話詐欺、悪質商法等の被害にあわないためのポイントを講話・寸劇でわかりやすくお伝えします。

詳しくはホームページ検索サイトで、